

# 子どもの心の発達 一日ワークショップ

## ～みること・書くこと～

さまざまな場で子どもや若者、養育者や保護者と仕事をする際、特に、言語発達の途上であったり言語表現が苦手だったりする子どもや若者、そして、言語化しにくい悩みや生きづらさをかかえる人たちのところを理解しようとするとき、非言語的コミュニケーションに着目することは助けになります。

このワークショップは、「見ること」と「書くこと」に焦点を当て、クライアントや相談者などの非言語的コミュニケーションに着目してみることを、そして、セラピストの内側にも眼を向けてみることを目的としています。

午前の部では、「見ること」と「書くこと」が主軸である「赤ちゃん観察」の観察記録を素材として、赤ちゃんや家族の非言語的なコミュニケーションや家族の力動について、想像を巡らせてみます。また、観察者が「いること」や「見ること」が、赤ちゃんや家族にどのように体験されているのかを探索してみます。

午後の部では、参加者各自が実践しているプレイセラピー、カウンセリング、診察、保育、相談、療育、検診などを素材にします。各自の実践について、より詳細な記録を書き、記述したことを小グループで発表しあうことを通して気づきを深めていきます。

受講生それぞれが外を見る眼と内を見る眼をより意識しながら個人ワークとグループワークに取り組み、対象と自分についての気づきを得られる時間になればと思います。ご参加をお待ちしています。

【開催日時】 2025年8月3日(日) 午前10時～午後4時

### 【スケジュール】

- ・午前の部 「赤ちゃん観察の記録を素材に自由連想し、ディスカッションしよう」
- ・午後の部 「詳細な記録を書いてみよう」

【開催方法】 オンライン

【募集人数】 20名程度

【参加資格】 臨床心理士、公認心理師、医師、教師、保育士、生活指導員、支援員など、守秘義務を負う仕事に従事している方で、記述できる事例(やりとりしている場面)をお持ちの方。  
(臨床や仕事の経験の多寡や長さや設定は問いません。1対1の心理相談に携わってなくても構いません。)

【参加費】 5000円

【講師・ファシリテーター】 脇谷順子(杏林大学/こども・思春期メンタルクリニック)

【乳児観察事例提示・ファシリテーター】 廣内雄一郎(新百合ヶ丘こころのクリニック)

【申込方法】 下記 URL または右 QR コードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/rwNdANZ8CkMmAqQh9>



【申込期間】 2025年6月3日(火)～7月20日(日)

【問合せ先】 小寺記念精神分析研究財団 事務局 [kodera.fps@gmail.com](mailto:kodera.fps@gmail.com)

\* 臨床心理士ワークショップ型研修会ポイント申請予定

主催: 小寺記念精神分析研究財団